

# 大阪市立大学

## 令和3年度 春の人権問題講演会

### ゲノム医療、AI医療における倫理的課題

がんはゲノムの多様な変異が原因となっている極めて複雑な病気である。東京大学医科学研究所はスパコンを活用したデータ解析でゲノム変異の全貌を暴き出し、血液腫瘍の患者さんに全ゲノムシーケンス解析に基づき3日で診断を返すことができるようになった。自分のゲノム情報を得るためのコストは10万円以下になり、がんゲノム、そして親からもらったゲノム情報をだれもが手に入れることができる。スパコンがなくてもクラウドなどを使ったデータ解析により数万円以下で自分のがんのゲノムの変異や親からもらったゲノムのバリエーションの全てを解析することができる。そんな社会がやってきた。本講演では、がん研究・医療におけるAIの現状と社会的課題について述べる。

日時：令和3年5月14日（金）10：50～12：30

開催方法：オンライン講演（LIVE配信）~~※大阪市立大学の学生・教職員のみ~~  
~~「市民」向け会場：大阪市立大学 学術情報総合センター 10階 大会議室~~  
~~（定員20名/当日先着順）~~



宮野 悟 氏（東京医科歯科大学 特任教授）

#### ●● 講師プロフィール ●●

1977年九州大学理学部数学科卒。理学博士。1993年九大理学部教授、1996年より東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター教授、2014年よりヒトゲノム解析センター長を経て、2020年4月に東京医科歯科大学に新設されたM&Dデータ科学センター長として医学と歯学のためのデータサイエンスを展開。日本バイオインフォマティクス学会長、神奈川県立がんセンター総長などを歴任。国際計算生物学会 (ISCB)よりISCB Fellowの称号を授与される。「先端ゲノミクスによる癌の分子基盤の解明」で2016年度上原賞、2019年度ヘルシーソサエティ賞（パイオニア部門）受賞。

#### 【申込方法】

- 大阪市立大学 学生・教職員・**市民の方**：下記QRコードからお申込みください。お申込み時に記載いただいたメールアドレス宛てに、オンライン参加用のURL等をご連絡します。

※授業振替の学生の方はQRコードを利用せず、担当教員の指示に従ってください。

~~市民の方：申込不要（当日、会場まで直接お越しください。）~~

【参加費】無料【定員】300名【申込締切】令和3年5月12日（水）

#### 【注意事項】

- オンラインでの参加（視聴）は必ず事前にお申し込みください。なお、参加には パソコン、スマートフォンなどの端末およびインターネット環境が必要です。
- 視聴にかかる通信費等は、視聴する方のご負担となります。



主催：大阪市立大学 人権問題委員会



大阪市立大学  
OSAKA CITY UNIVERSITY